

外国とのビジネスを翻訳で支える 日本のものづくり企業の 技術コミュニケーター

コンテックス

コンテックス（相模原市南区上鶴間本町、近藤千奈美社長、042-744-1080、フリーダイヤル0120-418-925、<https://www.kontecs.com/>）は、大手機械メーカーの研究所を定年退職した近藤社長の父が、「研究者の開発支援をしたい」という思いで、産業機械、特に回転機械の開発に伴う性能や材料に関する試験業務を支援／受託する会社として35年前に創業した。

2代目となる近藤社長は、米国の大学を卒業し、現地で社会人経験を経たのち平成5年同社に入社した。「海外企業との共同開発プロジェクトが言葉の壁でなかなか進まない。技術書類の翻訳をお願いできないか」という相談をきっかけに、米国での経験を活かして、【技術翻訳】という新サービスを開始した。

以来、産業機械メーカーや研究期間・大学、商社などへ、技術書類の翻訳に特化した翻訳サービスを20年以上提供している。回転機械、液圧機械や機器、半導体製造



海外展開したいが文章の翻訳にお悩みという中小企業の外国語サポートも！

装置、環境機器などの機械技術とアプリケーション分野を得意とし、手順書をはじめとするマニュアルや技術標準書、規格・特許・技術紹介のプレゼンテーション資料、国際学会で発表する論文など、専門用語を的確に翻訳する必要のある書類を主に手がけている。

同サービスの特長は、日本語から外国語に翻訳する点。「翻訳を通じて、日本のすばらしい技術を世界に広めたい」という近藤社長の思いがこめられている。「AIを利用した機械翻訳もずいぶん進化したとはいえ、ベテラン翻訳者による訳文は、技術文章でありながら、書き手の意図やレベル感を読み手に合わせて柔軟に調整した表現。機械とは一味違います」とこだわりを語る。



翻訳サービスの営業担当者

【技術翻訳】サービスに力を入れる近藤社長